

院長コラム

右の写真は COVID-19 感染拡大前にマツダスタジアムを訪れた際に満員のスタンドを撮ったものです。



カープのラッキーセブン、まさにジェット風船を飛ばさんとするところ。ところで、ジェット風船はカープが元祖だをご存知ですか。1978年5月13日にカープファンが甲子園球場で飛ばしたのが最初の日だとか。私は大阪時代に甲子

園球場を幾度か訪れたことがあります、黄色づくめで赤色は僅か。カープファンは大海の小島。おそらく、当時から似たような状況だったのでしょうか、初めてジェット風船を飛ばしたカープファンはチャレンジャーです。現在、COVID-19 感染拡大の影響で、スタンド

でのジェット風船は禁止されています。「満員のスタンドからのジェット風船」、この光景を再び目にする日。それは、「COVID-19 鎮圧」を実感する日になりそうです。



院長 茶堂 宏

COVID-19 変異株について

COVID-19 感染拡大下において**変異株**なる言葉を耳にします。

では COVID-19 変異株とは何なのでしょう？

ウイルスは自分で増えることはできず、人や動物の細胞に感染することが必要です。ですから、人や動物の体の中でうまく増えて、他の人や動物に感染していく状態をずっと続けないと生き延びていくことができません。ウイルスは通常感染した細胞の中で自らの遺伝子をコピーして増殖します。ところが、コロナウイルスなどの RNA ウィルスは遺伝子のコピーを失敗する（遺伝子変異）頻度が高いとされています。この失敗により、たまたま人や動物の体の中で効率よく増えたり、ワクチンを含む免疫から逃れやすかったりする性質を持つウイルスが出現することがあります。これが**変異株**です。英国、南アフリカ、ブラジルで見つかったように感染力が強いウイルス（**変異株**）が人に流行ってしまうと問題になります。国内で主に見ついている英国株は最大 70% 感染力が高いことが示されています。

次に**変異株**の小児に対する影響はどのように考えられているのでしょうか？

国内では小児関連施設で**変異株**によるクラスターが報告され、多くの小児が感染しています。ただし、**変異株**が既に拡がっている英国ロンドンでは大人と小児の感染者の割合は**変異株**の出現前後で大きく変わっていません。今のところ、既存株に比べて小児に感染しやすいといったことは示されていません。また、感染しても、既存株と同様に無症状～軽症であり、重症化もしていません。

今後も感染対策が重要ですが、**変異株**においてもこれまで通りの対策で構いません。ただし、**変異株**自体の感染力が強いため、大人ほど感染対策が徹底できない小児への感染拡大が懸念されます。

院長 茶堂 宏





私たちがお聞きします



ワクワクフルーツポンチ



新型コロナウイルス感染拡大が収まらず、不安を抱えている親御さんも多いことと思います。新型コロナウイルス感染拡大の影響でイベントの開催中止や延期など、お子様や親御さん同士の交流の場がなかなか作れず、子育ての情報交換をする場や悩みを相談する機会も減ってきています。当院受診の際に、お友達に話すようなことでも構いませんのでスタッフがお聞きします。私達と一緒にコロナ禍の苦境を乗り越えていきましょう。(古谷)

日増しに暑い日が増えてきましたね。そんな日のおやつにフルーツポンチはいかがですか？果物、ゼリー、サイダーでしゅわっと爽やかに作ってみました。おすすめは、サイダーにメントスを入れて噴水フルーツポンチにすることです。(城山)



スマイルダイアリー

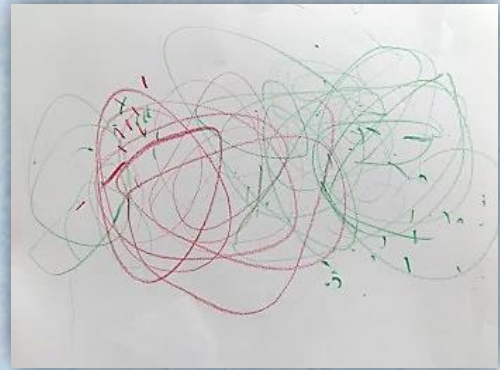
(お兄ちゃんの夢)



当院にいつも受診されている仲のいい兄弟がおられます。弟思いのお兄ちゃんは、弟が診察の時怖くて泣いていると優しく「大丈夫、こわくないよ。」と弟に声をかけてあげています。お母さんに「お兄ちゃん優しいですね。」と言うと、お家ではよく兄弟でお医者さんごっこをしていると話してくれました。いつもお兄ちゃんが先生で、弟が患者さん役。「お腹をもしもしますよ～。おくちア～ンして。お薬3日分出しますね。」実はお兄ちゃん、院長の大ファンで将来はお医者さんになりたいそうです。もしかしたら私の老後は、本当のお医者さんになったお兄ちゃんにお世話になっているかもしれません。がんばってね。(大田)



子供たちのアート作品



いっちゃん・1歳
ぐるぐる、てんてん、何かな？



ゆっちゃん・3歳
ゆっちゃんの家族なんだって♪



おすすめの本の紹介



「たべものやさんしりとりしたい
かいかいさいします」

作：シゲタサヤカ

出版社：白泉社



商店街のたべものやさんでしりとり大会が開催されることになりました。さてどのたべものやさんが優勝するのでしょうか。イラストも可愛く、知っている食べ物が多く出てくるので、待合室から食べ物を当てながら楽しく読んでいる声が聞こえてきます。どの年代にも人気の一冊です。(丸山)

編集後記



今号では、少しでも夏を感じていただければと思い編集も夏らしい飾り付けを入れてみました。新型コロナウイルス感染拡大が続いています。引き続き、手洗い・三密回避・マスク着用などの感染対策をしていきましょう。(中野)



(カラー版)